

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 多可町

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用 | 下水道事業 | 特定環境保全公共下水道 | D2 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) |
| - | 67.67 | 18.28 | 83.02 | 3,795 |

| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 18,966 | 9.13 | 2,077.33 |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km ²) | 処理区域内人口密度(人/km ²) |
| 3,454 | 2.73 | 1,265.20 |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

分析欄

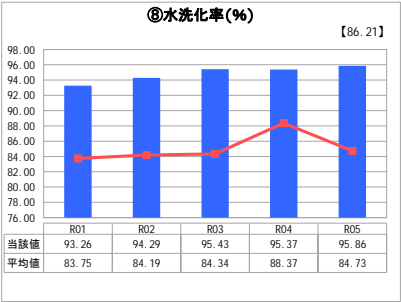
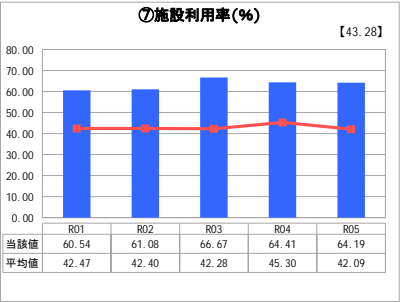
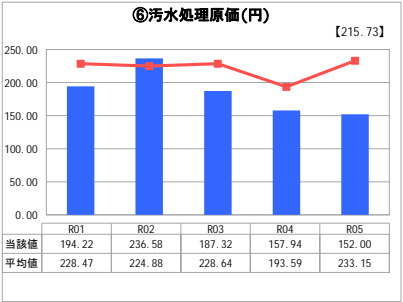
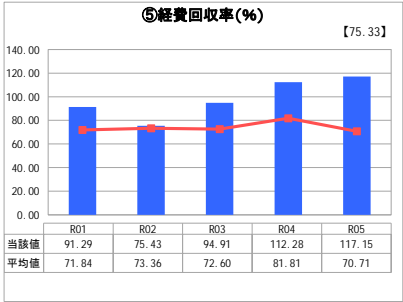
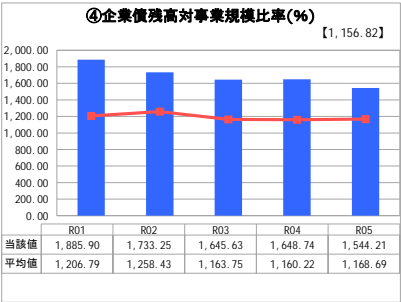
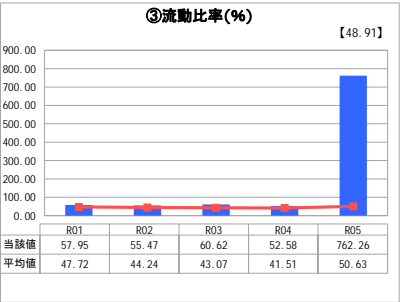
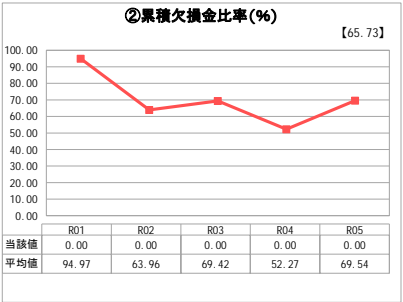
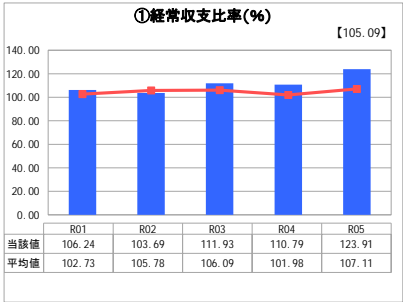
1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率については100%以上となっており、収支は黒字になっている。これは、繰入基準の分
流式下水道等に要する経費を繰入しているため
であり、一般会計からの補助金に頼るところも大
きいので、補助金額の増減に影響されるところで
は
ある。
・流動比率は100%以上で、短期的な債務に対する
返済は改善し、また、企業債残高対事業規模比
率
についても、償還計画に基づき着実な改善が行
え
ている。
・経費回収率については、分流水道等に要す
る
るため、維持管理費の削減が必要である。
・施設利用率については、令和元年度から増加し
て
いる。これは、杉原谷処理区の統廃合が完了し
た

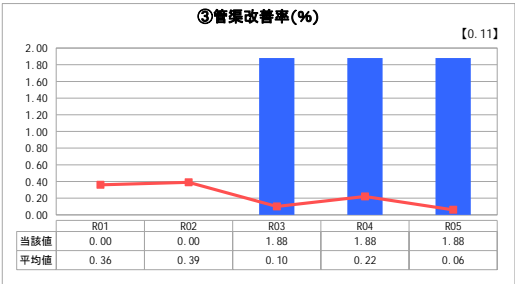
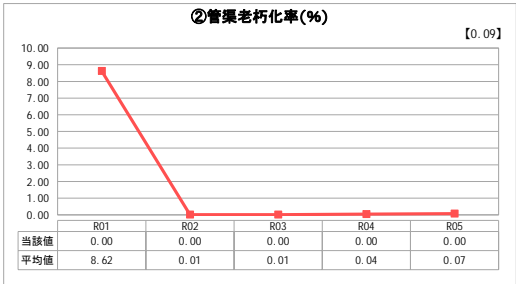
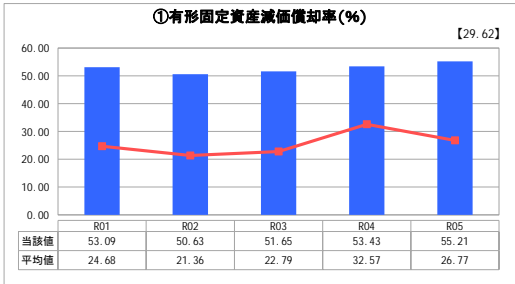
2. 老朽化の状況について

管渠は、最も古いもので建設から30年経過程
度で、直ちに老朽化の問題があるわけではない
が、将来の改築更新に係る財源確保に関して考
えていく必要がある。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



全体総括

令和元年6月末に杉原谷処理区の統廃合工事が完了した。今後、維持管理経費など経営面での改善が見込まれる。
貴船処理区については、他施設との統合が不可能なため、今後発生が予想される余剰系列の休止等、維持管理費の削減を行い、経営改善を進めていく必要がある。
さらに、今後、処理施設や管渠の更新を考慮した中長期的な収支計画を策定し、料金改定の検証を行うことで健全な経営に繋げたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。